

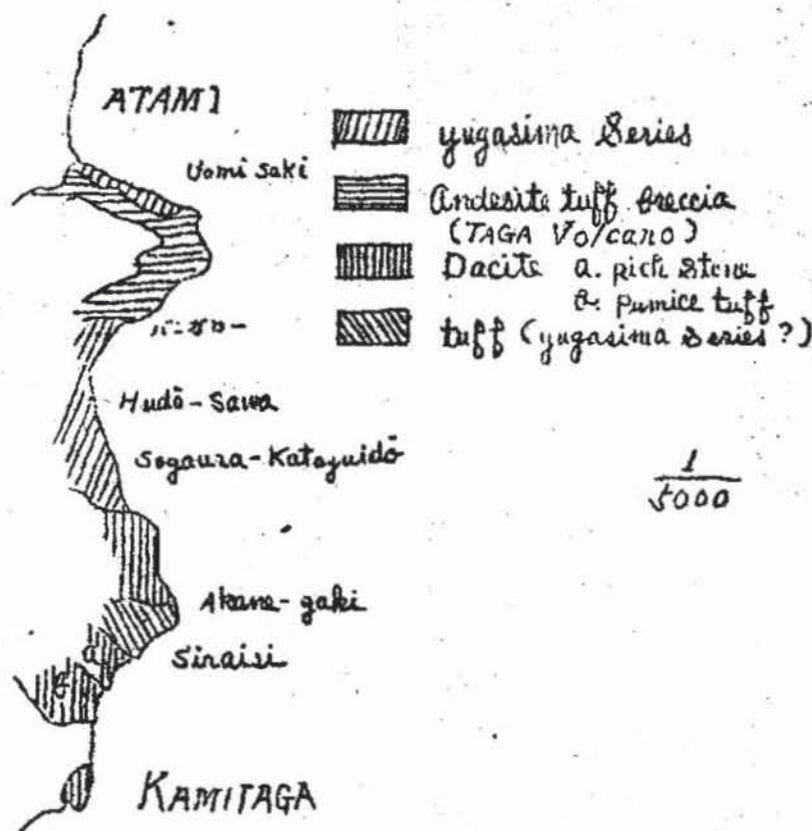
熱海-多賀をあるいて

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2011-08-25 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 加納, 実 メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.14945/00005900

熱海-弓賀を歩いて

四年 加納 実

伊豆半島は、富士、箱根、愛鷹の南に位する大部分火山よりなる半島である。然し全半島、火山噴出物の遺物の堆積ではなく、基底岩石も可成広く分布している。この半島東側箱根火山の南には熱海火山ありて温泉はその余勢である。こゝに書こうとするのは、熱海-弓賀間の Routemap の説明である。



魚見崎(釣ヶ浦)-帯に露出しているのは Essential tuff Breccia である。この Breccia の礫はキンカン大である Basaltic andesite (詳しくは Anorthite bearing Basaltic Andesite) である。魚見崎附近では (N 60°E 30°W) (N 40°W 80°E) であり、火山性の堆積故に Dip. & Striae はまちまちである。この魚見崎より熱海側には下部に Older miocene と云はれる場々 島嶼がみられ、又、不野沢側に行くにつれ lava と云つた感のする岩石である。この Essential tuff breccia を黄いて、片は

に dike 或は Sheet が見られる。それ等は Basaltic andesite 或は Hyperthene andesites と gas por 多く、中には Margine が見られる。故に之等 dike 或は Sheet は氣は弱く急冷却のものであろう。不動沢北方 100m 位の地味(バンガロー入口附近)に、小さな石切場あり岩石は Basaltic andesite であるが propiritization を受けている故にこの附近の岩石より古いものであり香黄の岩石と似ている。この propiritization を受けた Basaltic Andesite の Cavity (晶洞)には Zeolite, Calcite の結晶がよく生成してあり小さいがよい結晶が得られる。この石切場から曾我浦片隧道南数十米の地点迄は、湯ヶ島統が見られ、礫は glassy な Andesite であり、魚見崎附近礫とは、はつきり異つてゐる事が認められる。曾我浦片隧道南より赤根崎にかけて Dacite がみられる(久野博士は pyroxene Dacite と云つてゐる) この赤根崎から白石附近にかけては tuff が見られる。この tuff を貫いて Quartz vein あり又 Onion structure も見られる。この附近を久野博士は湯ヶ島統にしてゐる。この白石南西 200m 位から上野賀町にはいるあたりまで pick-stone, pumice-tuff, Dacite が露出して居り、その附近では下部から pick-stone, Dacite, pumice-tuff と云う様な上下関係になつてゐるのがみられる。

以上余りにも局部的な然も表面的な観察であるが、熱海野賀内をあるいた報告とします

伊豆半島に於ける *Lepidocyclina* の新産地

三年 田村彰司

最近までの報告に依ると、伊豆半島に於ける *Lepidocyclina* の産地は次の様なものである

田方郡下大見村下白岩

(石灰質砂岩)

全 北狩野村大野

()

また *Miogyrina* の産地としては